

「地域協育ネット」に係る学校関係者と地域関係者の合同研修会

第1回研修会

1 趣旨

学校関係者と地域関係者が一堂に会し、学校・家庭・地域の連携の意義について理解を深めるとともに、コミュニティ・スクールや学校支援活動の先進的な実践事例に学び、「地域協育ネット」の一層の推進を図る。

2 日時・会場

6月16日（土）9：45～16：15 山口県セミナーパーク

3 参加者

「地域協育ネット」実践協力校区等学校関係者、「地域協育ネット」実践協力校区等学校運営協議会関係者、コーディネーター等・地域関係者、県・市町行政関係者 合計 268人

4 研修会テーマ

「地域ぐるみで子どもを育む体制づくりの意義と具体方策」

5 研修会の内容

(1) 基調講演 講師：学校と地域の融合教育研究会 会長

演題：「学校教育と社会教育のかるやかな融合

～コミュニティ・スクールの意義とコーディネーターの役割～」

- 学社融合の意義
- コミュニティ・スクール実践校の状況とそれまでの厳しいプロセス（習志野市立秋津小学校の事例）
- 東日本大震災における避難所生活や自治会活動の様子～学校支援地域本部事業やコミュニティ・スクール事業の効果～
- かるやかな融合に向けて実践から得た具体的方策



(2) 事例発表1 発表者：岡山市立岡輝中学校 元校長

「これからの学校を考える」～岡輝中学校12年間の取組から～

- ヨコ関係の仕組みをつくる
 - ・ 地域住民の学校運営への参画の促進
 - ・ 地域力を活かした学校支援
 - ・ 学校力を活かした地域づくり
- タテ関係の仕組みをつくる
 - ・ 幼保・小・中の連携から一貫へ
 - ・ 課題が多くある中学校区ほど急がれる
- 学校改革の究極は授業 ～ 生徒指導の原点は授業
- 生徒指導の基本的な考え方と教師の覚悟

